

井上



2022年 活動報告 埼玉県議会議員 県政報告

和光市の皆さまにお配りすること**16年!**

県議会議員としても**12年目**に突入です!

無所属 42歳

あなたは **222万4955** 番目の読者です

前号までにお届けした枚数です

わたるの配る ホームページ 第80号



前号(第79号)では「身近な和光の県政」と題して「県警編」をお伝えしました。今号では私が最も力を注いでいる分野の一つである「**児童福祉**」と、近年激甚化・頻発化している河川災害を防ぐために重要な「**河川事業**」についてご報告します。



井上 ブログ



Twitter



Facebook

発行元 埼玉県議会議員 井上わたる事務所
連絡先 (埼玉県議会 無所属県民会議 和光支部)

〒351-0112 埼玉県和光市丸山台1-10-18
アントワープ平岡401号室
TEL:048-424-3684 / FAX:048-424-3854
E-mail : inoue_airline@yahoo.co.jp

新型コロナ対策など日々状況が変わる【最新情報】は引き続きネットを活用してお伝えします! ぜひご覧ください!

身近な

和光の県政

～児童福祉編～

これが朝霞市に建設予定の 新たな児童相談所の完成予想図です



2019年に実施した要望活動の様子。
この時提出した要望書は会派を代表して私が作成しました▶



埼玉県を取り巻く状況

埼玉県の児童相談所の通告件数

平成25年度	4,255件
平成30年度	1万2,597件

5年という短期間で
約300%増になっている

児童福祉司1人当たりの相談対応件数(平成30年)

全国平均	49件
埼玉県	73件

埼玉県は突出して多い状況となっています

児童相談所の管内人口

全国平均	58万9,000人
所沢児童相談所	110万人を上回る

和光市を担当する所沢児童相談所の管轄人口は全国平均の約2倍で、職員の業務負担が大きくなっています

第8児童相談所(仮称)整備について(施設概要)

施設概要

- ・建設地: 朝霞市青葉台1-2-16
- ・敷地面積: 約4,367㎡
- ・主要用途: 児童相談所(一時保護所併設/定員30名)
- ・階数・構造: 地上2階・鉄筋コンクリート造
- ・建築面積: 約2,200㎡
- ・延べ面積: 約3,990㎡
- ・建物高さ: 約9.6m(一部12.1m)
- ・付属建築物: 駐輪場等

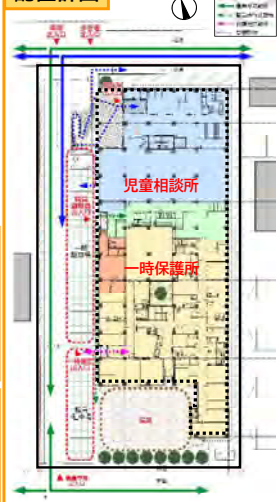
建設予定地



整備スケジュール(予定)

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
設計	建設工事	開設		

配置計画



完成予想図(北西側)



建物構成

児童相談所	一時保護所
屋上	屋上遊戯場
2階	相談室 会議室 など
1階	相談室 事務室 など
	児童の居住エリア 児童の学習エリア 児童の居住エリア 事務室 など

※施設概要等は基本設計時点のもののため、今後詳細な設計等により変更となる場合があります。

こうした状況や要望活動の甲斐もあり、朝霞市内(朝霞保健所に隣接する県有地)に一時保護所併設の児童相談所の新設が決まりました。この新たな児童相談所の設置を機に管轄区域の見直しも行い、和光市、朝霞市、志木市、新座市、ふじみ野市、富士見市、三芳町を管轄区域とする予定です。建設に向けた第一歩として、昨年度(=令和3年度)の予算では「**第8児童**

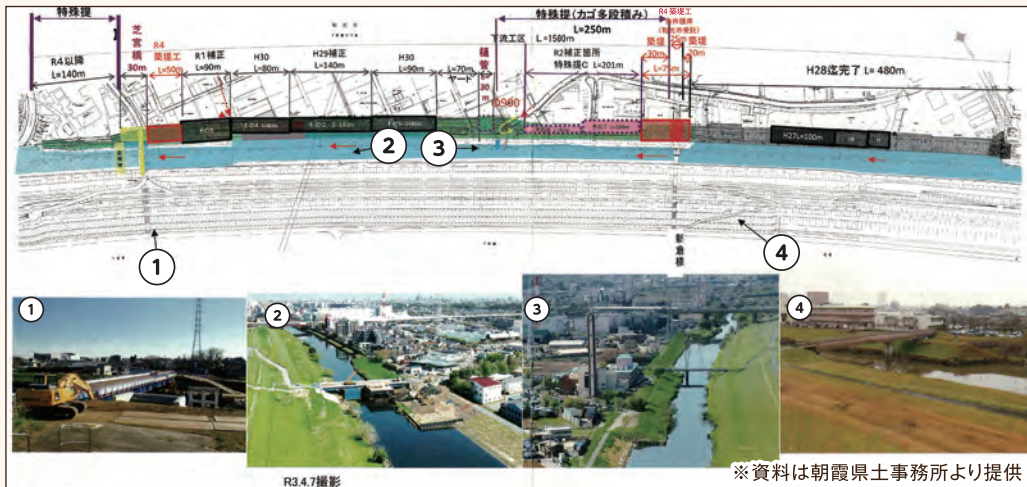
相談所(仮称)※整備の測量・設計」が盛り込まれました。先日、この設計業務を経て、新たな児童相談所の施設概要(右上図)が発表されました。そして、本年度(=令和4年度)には建設に向けた詳細設計が行われる予定です。令和7年度の開設実現に向けて今後も鋭意取り組んでまいります。※さいたま市の児童相談所を含まず数えるため、県立の児童相談所は現在7カ所あります。朝霞にできる児童相談所が8番目となります。



和光市内には、県が管理する河川として「新河岸川」「越戸川」「白子川」「谷中川」が流れています。(荒川は国の管理)近年、激甚化・頻発化する河川災害を防ぐため、県では築堤工事などの対策に力を入れています。私も県議会の一般質問で『和光市内の河川改修について』というテーマを度々取り上げたり、知事への予算要望書に毎年盛り込むなど、後押しを続けてまいりました。今号では、新河岸川の工事の進捗と今後の予定、及びその他の河川環境整備についてご紹介します。

新河岸川河川改修工事

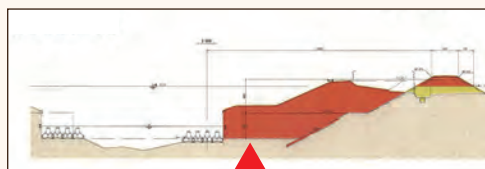
都県境から新河岸川水循環センター(和光スポーツアイランドの下部施設)までの1.5Km区間を重点区間として、河川の拡幅工事を実施中です。



令和元年の台風19号では増水し、堤防近くまで水が迫りました。



この工事で河川断面を拡幅することで、計画流量を増やし、治水効果を向上させる効果があります。



赤い部分を削り川幅を広げる

拡幅工事に合わせて、老朽化していた芝宮橋の架け換えも行われました。



架け換え前の芝宮橋。老朽化により重さに耐えられなくなっていたため、渡る台数も制限し、大きな車が通れないように車幅を制限するなど、不便な状況が続いていました。



架け換えにあたっては仮橋を設置し、旧橋を撤去しました。



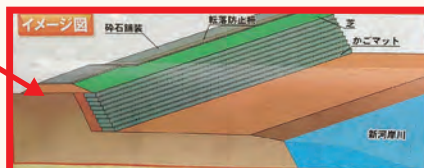
まだ工事作業は続いているますが、立派な新橋が完成しました。

現在は「福祉の里」付近のカゴ多段積み工事の完成を目指して、工事が進められています。

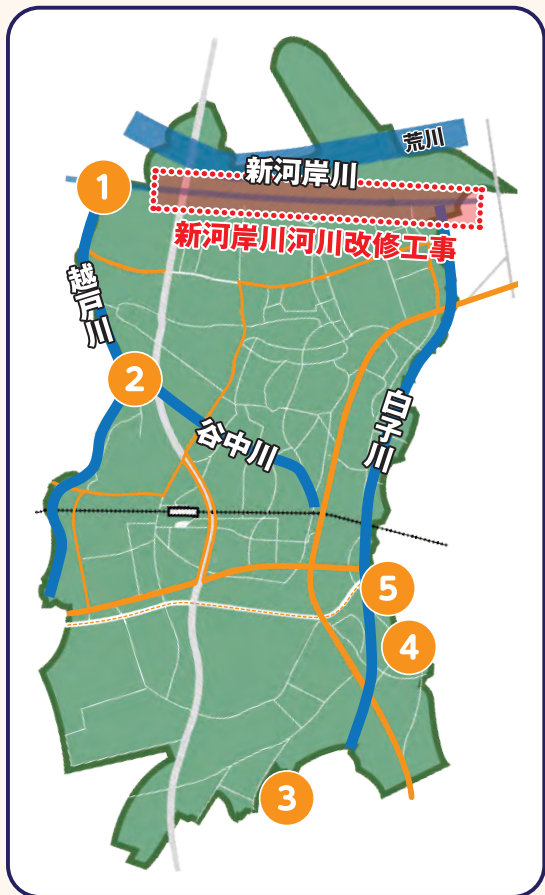


この土手部分も県と国とで連携し増強工事を行う予定

また、この工事に続いて荒川の堤防(=新河岸川と荒川の間の手当たる部分)の増強も工事予定です。土手の新河岸川側は県が、荒川側は国がそれぞれ分担して行うとのことです。



※工事箇所に掲示された工事看板より



その他の河川環境整備

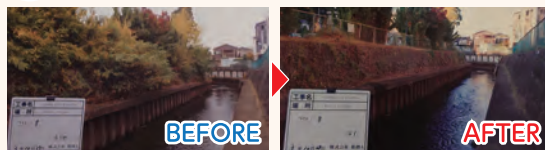
1 越戸川 親水公園付近



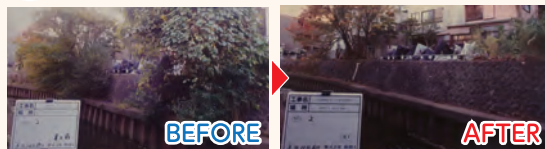
2 谷中川 地蔵橋付近



3 白子川 越後山橋下流付近



4 白子川 子安橋上流付近



5 白子川 ニトリ成増店付近



★⑤の工事は地域の方々からの要請を受けて「架け橋プロジェクト」の一環として実現しました

このほかにも、越戸川の水辺再生100プランの工事箇所では修繕が必要になった箇所の再整備なども行なっております。

※①～④の写真は朝霞県土事務所提供

6月17日開会の6月定例会で一般質問を行うことになりました。登壇予定日は6月23日(木)です。県政全般に関わる課題や和光市の地元問題など幅広く取り上げる予定です。